

実施日：令和8年（2026年）7月1日・8月3日

研究テーマ：子どもの“想像力”で創る音楽科の授業デザイン～きいて かんじて やってみて～



研究会の達成目標：

児童が、表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的なものの見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を身につけることができる音楽の授業づくりについて研究する。

活動内容

7月1日（水）に4年生の音楽の公開授業を豊中市立南丘小学校の大崎先生にいただきました。「音色のとくちょうを知ろう」というテーマをもとに、子どもたちがいきいきと自主的に授業に参加する姿が素晴らしかったです。さまざまな楽器をならして、音色を確認し、タブレットの表にポジショニングし、友だちと感じたことを交流するという内容でした。事後研でも、グループごとに感想を交流した上で全体交流をしました。実りある時間となりました。その後、連合音楽会に向けての演奏指導研究、夏休みにある実技講習会に向けての合唱練習など、盛りだくさんな内容でした。合唱練習では、一つひとつの言葉を大切に表現することや、指揮者をしっかりと見て、ブレスのタイミングをそろえることなどに意識して歌うことができました。

8月3日（月）に「打楽器講習会②」を豊中市立庄内さくら学園の飯田先生に教えていただきました。合奏には欠かせない、打楽器のチューニングや演奏方法について教えていただきました。先生ご自身の打楽器演奏の経験や、学校現場で長年教えてこられた経験から、私たちがすぐに現場で活かせる知識をたくさん紹介していただきました。また、グループに分かれて、大太鼓や小太鼓のヘッドやフープを実際に外し、お手入れやチューニングをするワークショップもありました。5月の「打楽器講習会」とからめて、話していただいたおかげで、より楽器のことを詳しく知ることができてよかったです。また、歌唱教材についてもおすすめの曲を紹介していただき、みなさんで心ひとつに歌うこともできました。

今後の活動

9月演奏指導研究・連合音楽会に向けての研究
10月演奏指導研究・連合音楽会に向けての研究